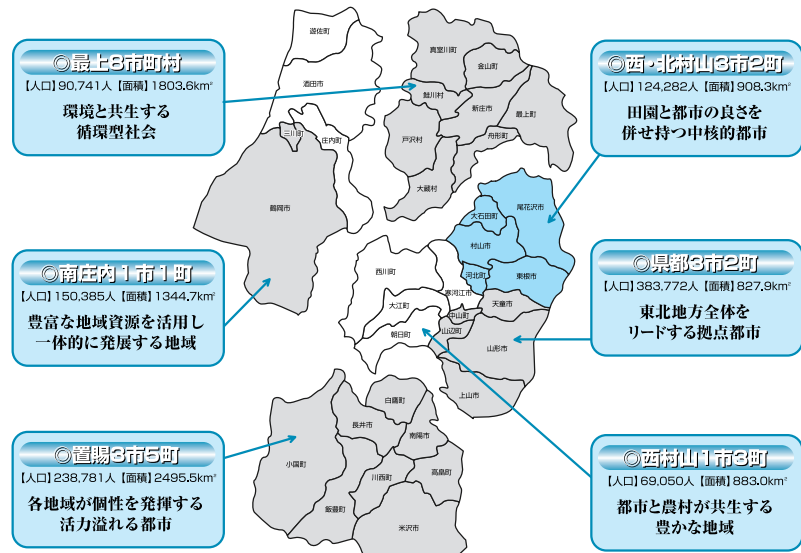


## 県で推進する合併への町長の考えは。

町長…道州制の動きを見ながら検討します。



青木 久子 議員



県で提示した合併構想組合せ（県市町村合併推進構想より）

自然災害・経済の低迷・少子高齢化社会の現状をふまえて、我が町の地域力・産業力・定住力を分析して、方策を示すべきではないか。

町長 振興実施計画を策定するなかで毎年度の見直しをはかりながら、よ

町長 県では成果についていまだ明らかにしていません。今後、必要に応じて町民にお知らせします。最新の行財政改革を指針としながら、住民との「協働による町づくり」を目指し実践しています。

町長 今までに合併した庄内地区の状況把握を町民に情報公開し、納得のできる町の将来像を示すべきではないか。

町長 合併新法の期限は平成22年3月まで、県では「市町村合併推進構想」を策定し、推進しているが町長の考えは。

町長 道州制の動きを見ながら、新法の期限にとらわれず検討していきます。



にぎわった7月5日のそばの里まつり

町長 首長としてしっかりと集中改革プランを打ち出し、改革効果や変動は町民にわかりやすい数字で示すべきではないか。

町長 計画の進行状況を含めて精査し、改めて示めさせていただきたい。今後の町づくりの指針となる「第六次町総合振興計画」の策定準備も進めていきます。

町長 再質問 財政が厳しい中、財源の確保に積極的に取り組むべきではないか。

町長 難しいことです。

再質問 町の事業を進めるうえで、町民との対話こそ大切。振興策の考え、こだわりの一手とはなにか。

町長 考え方を前向きにすることです。



蔵づくりが残る本町通り



関 幸悦 議員

## 学校整備と町づくりをいっしょに進める。町長：財政的な面も含めて総合的に判断し計画します。

町長 統合中学校は、平成22年4月開校に向けて順調に整備が進んでいるが進捗状況はどうなっているか。また、町民に対して随時周知すべきでは。

町長 現在、建設用地の造成工事をおこなっています。進捗状況については、十分検討し時期をとりえ随時お知らせしていきます。

再質問 新校舎は、歴史的街並みの景観を生かした校舎を建設する計画になっているが、本町地区を中心とした周辺の街並み景観を学校整備と並行して整備する考えはないか。

町長 町では平成9年に2ヶ月にわたり、二丁目・川端地区から四日町にか

大石田小学校、横山小学校を除いて生徒が少なく複式学級が年々増えてきています。小学校統廃合へ向けて今後どのように進めていくのか。

教育委員長 小学校の統廃合については、平成28年度に現大石田小学校への1校統合を目指します。当面平成23年度から平成27年度までの5年間は暫定期間として田沢小学校、大石田小学校、亀井田中

学校を活用する考えです。今後さらに保護者、地区民、議会、町等、関係機関と調整を重ねて最終決定します。

後期高齢者医療制度見直しは。

制度がスタートして2ヶ月になりますが、理解しがたく多くの問題をかかえている。制度に関する問い合わせや苦情などについて町民からきていないのか。またどのように対応しているのか。

町長 当町の被保険者は1570人で被保険者証の紛失などによる再交付が23件、制度の内容や、手続き方法、さらには保険料などについての役場窓口、電話による相談や照会が56件あり、そのつ

町長 保険料額及び減免規定が、山形県内において一律に定められている関係上、町独自の減免規定を設けることはできません。年金天引きについて国で見直しを検討しています。県広域連合の指導をいただきながら事務を進めていきたいと思っています。

町長 収入の少ない年金生活者や一人暮らし、高齢者世帯で生活が苦しい方等、これらの方々への減免措置など負担軽減をしたり、また年金天引き徴収は希望者だけにするなど本人の同意を得てやるべきでは。